

みえるもののむこう Beyond the Visible

2019年7月13日(土)から9月8日(日)まで



白石由子《Three Stars》1997年 油彩、カンヴァス Courtesy: 横田茂ギャラリー

企画概要

せい

生の美しさを世界に探り、眼に見えるかたちにして、作品へと映し出すアート。眼と精神、そして身体を同時代の空間に置き、そこから見えるものとその向こうに感じ取ったものを表現に起こしていく清新な感性の今を、絵画、写真、インスタレーション、映像、ダンスなどの多様なジャンルで展開する5人の現代作家、一之瀬ちひろ(1975-)、酒井幸菜(1985-)、白石由子(1956-)、津上みゆき(1973-)、三嶽伊紗(1956-)の仕事を通してとらえます。

展覧会の見どころ

1. 夏の葉山で、アートを通して世界と出会う
光と色彩にみちた絵画や写真、外光によって変容するインスタレーションなど、展示室の外にひろがる自然と呼応した脱日常的なアート体験を通して、世界との新しいつながりを探ります。
2. 会期を通じたパフォーマンス作品の発表
酒井幸菜が本展の作品と空間をテーマに、各作家の部屋ごとに異なるパフォーマンスを制作・上演します。展覧会全体に振付することを試みます。

開催概要

会 期：2019年7月13日(土)から9月8日(日)まで
会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 展示室2・3
開館時間：午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日：月曜日(7月15日、8月12日は開館)
主 催：神奈川県立近代美術館
観 覧 料：一般600(500)円／20歳未満・学生450(350)円／65歳以上300円／高校生100円

* ()内は20名以上の団体料金です。中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

* セット 割：「柚木沙弥郎の『鳥獣戯画』」との同時購入で、一般および20歳未満・学生の観覧券がセットで100円引になります。

* リピーター 割：有料観覧券のご提示で、一般および20歳未満・学生の後日の観覧料が100円引になります(1枚につき1回限り有効)。

* ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日：8月4日、9月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。また同日は会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」となりますので、小さなお子様連れの方も遠慮なくご覧ください。

* その他の割引につきましてはお問い合わせください。

【同時開催】 柚木沙弥郎の「鳥獣戯画」

染色家・柚木沙弥郎(1922-)の当館のコレクションを中心に、新作「鳥獣戯画」をはじめ近年の型染布や絵本原画などを展示。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当：鈴木、八木、深尾 展覧会担当：三本松、西澤

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

本展について

^{せい}生の美しさを世界に探り、眼に見えるかたちにして、作品へと映し出すアート。眼と精神、そして身体を日々生きられる空間に置き、そこから見えるものとその向こうに感じ取ったものを表現に起こしていく清新な感性の今を、5人の現代作家の仕事を通してとらえます。

参加アーティストは、一人ひとりが葉山の自然に囲まれた美術館の内と外を体感し、場の特性に呼応したサイトスペシフィックな新作や初公開の作品を含めてそれぞれの展示空間を構成しました。

作家ごとの独立した空間性を保ちつつ、ゆるやかに連なる展示室に順路はありません。静かな美しさと確かさにみちた作品空間を往き来し、窓外にひろがる自然の生命力を感じながら、アートと世界の連続性について体感し、思索する夏の時間をお過ごしください。

一之瀬 ちひろ Ichinose Chihiro (1975-)

写真家の一之瀬は、スナップ写真にコラージュを施したり、余白や色光を印画紙へ焼き付けて複写を繰り返すといった独自の手法で注目を集めた「KITSILANO」シリーズの作品に、初公開を含む近作・新作を加え、プリントと映像、冊子などを複合的に構成。写真に現れたイメージを超えて、社会と日常をつつむ無意識の風景をとらえます。

酒井 幸菜 Sakai Yukina (1985-)

振付家／ダンサーの酒井は、「美術館」という場をテーマに本展の作品や鑑賞者の動きからモチーフを採集し、振付家として各作家の空間にあてたパフォーマンスを制作・上演します。会期を通して生成していく彼女の作品は、作品と人々、意味と歴史が統合されたもう一つの生を美術館にもたらすことでしょう。

白石 由子 Shiraishi Yuko (1956-)

絵画をはじめとして音楽や建築のプロジェクト、キュレーション活動なども展開し、女性による抽象絵画を再考する近年の国際的動向のなかで高い評価を受ける白石は、日本の美術館では初となる個展形式の空間で、油彩と版画、立体インスタレーションに加え音盤(レコード)作品を展示します。

津上 みゆき Tsugami Miyuki (1973-)

国内外で意欲的な新作展示が続く津上みゆき。季節の移り変わりにあわせて数度にわたり葉山を訪れ、この土地の光と空気、音や自身の感覚をとらえたスケッチブックから、鮮明かつ抑制された色彩と空隙が画面をみだす抽象的な絵画を制作し、葉山に新しい風景を拓きました。

三嶽 伊紗 Mitake Isa (1956-)

近年、冬の自然を撮影した静謐な動画を重ねて、具象と抽象のはざまに成立する映像作品を手がける三嶽は、そこで追求される表面性の問題を、朦朧とした色面や光を立体化したインスタレーションでも展開しています。今回、展示室2と3の間に位置するレストコーナーが、開館以来初めて作品として空間化されることにも期待が高まります。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当：鈴木、八木、深尾 展覧会担当：三本松、西澤

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

酒井幸菜《眼差しと筆跡(展示室のコレオグラフィ)》

本展の出品作品である《眼差しと筆跡(展示室のコレオグラフィ)》は、
酒井幸菜が下記のパフォーマンスと「採集」作業を
会期中の展示室で行うものです。

酒井幸菜
神奈川県立近代美術館 葉山にて
2019年 撮影:相川健一



[パフォーマンス]

各作家の展示空間で、約15分の公演を各1日、午前と午後に行います(内容と出演者は各日により異なります)。
また、展覧会の初日と最終日に約30分のパフォーマンスを行います。

日時:

7月13日(土)	午後4時	「習作として」
7月28日(日)	午前11時/午後3時	「津上部屋にて」
8月10日(土)	午前11時/午後3時	「一之瀬部屋にて」
8月24日(土)	午前11時/午後3時	「三嶽部屋にて」
9月1日(日)	午前11時/午後3時	「白石部屋にて」
9月8日(日)	午後4時	「展示室を通して」
9月 [非公開/映像記録を後日公開]		「空白の展示室にて」

[採集]

各パフォーマンスに先立ち、各作家の展示空間で、作品や空間、鑑賞者やスタッフの「動き」を観察し、作成したスケッチやメモを、作業場として設定された酒井幸菜の展示空間に掲示していきます。また、この場所で振付の構想や検討の作業を行います。

採集日(酒井幸菜氏来館作業日)の最新情報は美術館ウェブサイト、Twitter等でお知らせします。

*スケジュールや内容は変更となる場合があります。最新情報は当館ウェブサイト、Twitter等をご確認ください。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、八木、深尾 展覧会担当: 三本松、西澤

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

関連イベント

※詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。なおイベント内容は変更される場合があります。
※すべて申込不要、参加無料。ただし展示室で行われる企画は本展の当日観覧券が必要です。

○アーティストトーク

場所:展示室

作家と日時:

白石 由子 7月15日(月・祝) 午後1時から2時まで
ゲスト:川村格夫(本展出品作《SPECIMEN》制作のユニット「36」のメンバー)
《SPECIMEN》音盤(レコード)の会场上演を行います。

津上 みゆき 7月28日(日) 午後1時から2時まで

酒井 幸菜 7月28日(日) 午後3時15分から4時15分まで
午後3時からのパフォーマンスに続いて行います。

一之瀬 ちひろ 8月10日(土) 午後1時から2時まで
ゲスト:尾中俊介[Calamari Inc.](本展グラフィックデザイナー)

三嶽 伊紗 8月24日(土) 午後1時から2時まで

○館長トーク 「みえるもののむこう」

日時:9月1日(日) 午後1時から2時まで

場所:展示室2・3

○担当学芸員によるギャラリートーク

日時:7月27日(土)、8月8日(木)、8月27日(火) 各日午後2時30分から3時まで

場所:展示室2・3

○近代美術館入門講座 「みえるもののむこうとこちら」 共催:葉山町

講師:三本松倫代(当館主任学芸員)

日時:7月27日(土) 午前10時から11時まで

場所:葉山町福祉文化会館 大会議室

広報用画像データ一覧

展覧会広報用として、画像データをご用意しております。ご希望の場合は、下記のメールにてお申し込みください。
その際、次の必要事項の明記をお願いいたします。

展覧会名／希望画像のアルファベット／社(団体)名／媒体名／掲載予定日／担当者名／連絡先

A



B



C



D



E



F



G



H



I



【お問合せ】神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、八木、深尾 展覧会担当: 三本松、西澤

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

J



K



L



M



N



O



画像キャプション

- A 一之瀬ひろ 「PARIS 2015/11/13 - TOKYO 2016」より《SNOW DOME》2016年 発色現像方式印画、紙
- B 一之瀬ひろ 「きみのせかいをつつむひかり(あるいは国家)について」より[#0021] 2019年 発色現像方式印画、紙
- C 一之瀬ひろ 「KITSILANO」より[#050] 2012年 発色現像方式印画、紙
- D 酒井幸菜 ダンスパフォーマンス「In the Wind」神奈川県立近代美術館 鎌倉、2010年 Photo: 相川健一
- E 酒井幸菜 神奈川県立近代美術館 葉山にて、2019年 Photo: 相川健一
- F 酒井幸菜 神奈川県立近代美術館 葉山にて、2019年 Photo: 相川健一
- G 白石由子 《Moon Drop》1996年 油彩、カンヴァス Courtesy: 横田茂ギャラリー
- H 白石由子 《SPECIMEN》2011年 レコード、標本箱 Courtesy: 東京パブリッシングハウス
- I 白石由子 《Three Stars》1997年 油彩、カンヴァス Courtesy: 横田茂ギャラリー
- J 津上みゆき 《View, a plum tree on the hill, the light, 12:22pm 2 Mar 2019》2019年 アクリル、カンヴァス Photo: 山本紉
- K 津上みゆき 《View, a nightingale singing, 11:55am 2 Mar 2019》2019年 アクリル、カンヴァス Photo: 山本紉
- L 津上みゆき 個展「時の景、つなぐとき」ポラ ミュージアム アネックス、2016年 Photo: 長塚秀人 Courtesy: ANOMALY
- M 三嶽伊紗 《雪2》2010年(個展「微分する眼」ギャラリー ヤマグチ クンストバウ、2010年) Photo: 福永一夫
- N 三嶽伊紗 個展「三嶽伊紗のしごと—みているもののむこう」徳島県立近代美術館、2014年 Photo: 米津光
- O 三嶽伊紗 《イロ》2010年 アクリル樹脂、蛍光塗料 Photo: 米津光

【お問合せ】神奈川県立近代美術館 葉山

広報担当: 鈴木、八木、深尾 展覧会担当: 三本松、西澤

Tel: 046-875-2800 Fax: 046-875-2968 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>